

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

〇〇 〇〇 年 6 月 △△ 日

新潟市長様

法人の代表者
もしくは処理計画書の作成単位で
ある支店等の代表者でも可です。

提出者
住所 新潟市中央区〇〇〇〇 1-2-3
氏名 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

社印等の押印は
しないでください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、××年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

前年度の報告です。

事業場の名称	〇〇〇〇株式会社 新潟支店		
事業場の所在地	新潟市中央区〇〇〇〇 1-2-3		
事業の種類	総合工事業、食料品製造業など		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	××年 4 月 1 日 から 〇〇年 3 月 31 日 まで		

前年度に提出した産業廃棄物処理計画書の情報を記載してください。前年度の実績値ではありません。

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	250.00 t	全処理委託量	250.00 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	180.00 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	220	t
	前年度	250	t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) ・JWNETへの加入、電子マニフェスト対応業者との契約等 ・(情報処理センターの登録困難な事由が明確な場合はその旨を記入)			

※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 : 廃酸)

第2面は、排出等があった産業廃棄物の種類ごとに1枚ずつ作成をお願いします。排出等がなかった産業廃棄物の種類については作成不要です。

前年度の実績値を記載してください。

有償物量

不要物等発生量

廃酸を、全量処理委託した場合。その内、優良認定を受けている業者に150t委託。

排出量

① 200.00 t

自ら直接
再生利用した量

② t

自ら直接埋立処分した量

③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ t

項目

実績値

①排出量 200.00 t

②+⑧自ら再生利用を行った量 t

⑤自ら熱回収を行った量 t

⑦自ら中間処理により減量した量 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入
処分を行った量 t

⑩全処理委託量 200.00 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量 150.00 t

⑫再生利用業者への処理委託量 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を
行う業者への処理委託量 t

自ら中間処理
した量

④ t

④のうち熱回収
を行った量

⑤ t

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ t

自ら中間処理により
減量した量

⑦ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 200.00 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 150.00 t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を行
う業者への処理委託量

⑭ t

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書（集計用シート）

提出者の名称	〇〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇	提出者の住所	新潟市中央区〇〇〇〇 1-2-3
事業場の名称	〇〇〇〇株式会社 新潟支店	事業場の所在地	新潟市中央区〇〇〇〇 1-2-3
内容年度	× × 年度	Excelでは、第1面に入力した内容が自動的に入力されます。	

（単位：トン）

廃棄物の種類	排出量	自社内での処理状況								委託先での処理状況				
		自己中間処理をしない		自己中間処理をする						委託 処理量	委託処理量のうち委託先毎の量			
		自己再生 利用量	自己最終 処分量	自己中間 処理量	うち熱 回収量	自己中間 処理後 残さ量			自己中間 処理 減量化量		優良認定 処理業者 への処理 委託量	再生利用 業者への 処理 委託量	熱回収 認定業者 への処理 委託量	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量
							自己再生 利用量	自己最終 処分量						
A	B	C	D	E	F	G	H	I (D-F)	J	K	L	M	N	
Excelでは、第2面に入 力した内容が自動的に 入力されます。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧	⑨	⑦	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
施行規則様式との対応関係														
廃油														
廃酸	200.00									200.00	150.00			
廃アルカリ														
感染性廃棄物														
廃PCB														
PCB汚染物														
PCB処理物														
指定下水汚泥														
鋳さい														
廃石綿等														
ばいじん														
燃え殻														
廃油(金属を含むもの)														
汚泥(金属を含むもの)														
廃酸(金属を含むもの)														
廃アルカリ(金属を含むもの)														
合 計	200.00									200.00	150.00			

Excelでは、第2面に入力した内容が自動的に入力されます。